

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日 2025年 2月 4日

法人（事業所）理念		NPO法人「共に・ばくの会」は利用者本位であることを掲げ、「働く親御さんを応援する事業所」をモットーに、さらに「子どもたちが楽しく過ごせる居場所づくり」を何よりも大切なこととして運営をしております。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりが、それぞれの好きなことを見つけ、安心して表現できる居場所づくりを目指します。 集団での活動を通じて仲間意識が芽生えることにより、思いやりの心を育てる支援を目指します。 		
営業時間		平日：9時30分～17時30分 土曜日・学校短縮日：11時～17時30分 学校休業日：9時～16時30分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作及び手段的日常動作の獲得 健康的な生活リズムを身につけるサポート（維持・改善）食事、排泄 定期的な心身の把握（毎日の観察、面談、個別活動） 身だしなみの整え方 食育（菜園体験、おやつづくり） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、触覚、個有覚、前庭覚を特に意識した運動や動作） リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、様々な道具の使い方 姿勢や運動、基本的・応用的動作能力の向上 トランポリン、バランスボール、運動用具を使ったトレーニング、バリアフリーピクス、音楽療法、公園活動 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動や遊びの中で、適切な行動・ルールを理解し習得する（認知の偏りに配慮する） こだわりや偏食に対応する 空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化） プログラミング療育、パソコン練習での認知機能発達を促す 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や場面に合った言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 コミュニケーション手段の活用（SST、発表する機会の提供、ロールプレイ） 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団、集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ 社会体験（買い物、公共交通機関を使用する練習等）や地域交流の場を設ける 自己理解、他者理解への支援（SST・社会体験・個別療育） 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認 お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な移行先との調整、相談援助、連携 学校や併用利用先との情報共有
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 地域交流の機会を提供することで、集団への参加、適応する能力を養う 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な職員会議、ケース会議、その他会議の実施 職員の各種勉強会や研修への参加
主な行事		<ul style="list-style-type: none"> 法人開催の行事（ばくの子祭り、スポーツフェス、クリスマス会等） 外部講師による音楽療法、バリアフリーピクス、制作、レクリエーション、社会体験等の実施 		